

UK

UK REPORT

New Products

iBRITE
／プレミアムプラスジャパン
＜ホワイトニング照射器＞

プレミアムプラスジャパンから発売された“iBRITE”（アイブライト）は、診療シチュエーションに合わせて選ぶことができるホワイトニング照射器です。スタンドタイプとテーブルトップタイプに2種類を用意。シンプル設計で操作も簡単で、診療にかかる無駄な時間を省きます。

【特徴】

- 180度回転可能な照射ヘッドと自在可動のネック部で、施術部位へ確実にアプローチできます。
- 電源ボタン、タイマーボタン、照射ボタンの3つのボタンで簡単に操作が可能です。照射時間は診療時間に合わせて、細かく12段階でセットが可能です。
- テーブルトップタイプは診療用ユニットを使用せず行えるので省スペースでの活用に有効です。
- スタンドタイプは、ユニットへの移動も安定してスムーズに行えます。
- マウスピースと保護メガネが1つずつ付属されています。

標準価格＝スタンドタイプ 100,000円
テーブルトップタイプ 95,000円

フィルテック フィルアンドコア
フロー コンポジットレジン
／スリーエムジャパン
＜フロアブルコンポジットレジン＞

スリーエムジャパンから発売された“フィルテックフィルアンドコアフローコンポジットレジン”は、従来のフロアブルレジンと比べ、重合収縮応力が約50%軽減され、また硬化深度も4mmとなり、直接修復のベース・ライナーや間接修復のレジン築造に最適なフロアブルコンポジットレジンです。これにより、2次カリエスや術後疼痛リスクを軽減させることができ、深い窩洞に対しても使用が可能です。

【特徴】

- 多くの症例に使用でき、なおかつ重合収縮応力が少ないフロアブルレジンです。
- 「フィルアンドコア」という名前にもある通り、築造用レジンとしての適用も有しているため、支台築造（コア）としても使用が可能です。高さのある支台歯に対しても短い時間で光重合することが可能です。
- 支台歯に対して近い距離で操作できることに加え、押し出し圧は従来品と同等なので、コア築造などの作業に適しています。
- 色調は、ユニバーサル、A1、A2の3色をラインナップ。

標準価格＝2g シリンジ入 2,500円

diem／サンデンタル
＜ポタニカルトゥースシリーズ＞

オーガニックエキスを含む13種類の植物美容エキスを配合したポタニカルトゥースシリーズ“diem”がサンデンタルから発売されました。原料は植物・天然由来のものを使用し、国産オーガニックエキスを含むこだわりの植物美容エキスを配合。口臭、虫歯を予防し、ゆすいだ後も爽快感を残しながらケアします。また、口腔内に潤いを与え、お口の中からキレイにサポートします。

【特徴】

- 厳しい環境で育った植物の力が、ぎゅっと詰まった美容エキスを配合。口内を潤いでコーティングするようにみずみずしく保ち、気になるネバつき・パサつきや口臭を予防します。
- ステイン・口臭ケア用のマウスウォッシュとマウスウォッシュスティック、ステインケア用のペースト、口臭ケア用のジェルをラインナップ。

患者参考価格＝
マウスウォッシュ 1,000円（税別）
マウスウォッシュスティック 500円（税別）
ペースト・ジェル 各1,200円（税別）

My Recommendation

『リライエックス
ルーティングプラス』
＜スリーエムジャパン＞

スタンダードパック 12,000円
ジャンボパック 27,500円

衛生士さんのセメンテーション時おける時間短縮をより実現的に！

今回、ご紹介させていただいた商品は、スリーエムジャパンから発売されておりましたビトレマー2ペーストの後継となるセメント『リライエックスルーティングプラス』です。物性・操作性などは以前同様でありながら、合着用グラスアイオノマーセメントで唯一の光照射により5秒で半硬化するため、除去タイミングを見計らう必要がなく、余剰セメントを一塊のまま除去することができます。また、合着用グラスアイオノマーセメントでありながら、唯一、保険点数で17点の材料点数がついています。（2018年4月2日現在）

ビトレマー2ペーストよりご使用いただいている先生からは、「今まで通りスタッフの時間も作れて、17点というのは大きいね。」との好評いただいております。是非この機会に、メタルの合着セメントとして、スピーディなセメンテーションが実現できる製品をお試しください
標準価格＝トライアルパック 6,800円

熊本店 営業四課 高木 良典

歯科医院経営を考える(487)

デンタル・マネジメント・コンサルティング
稲岡 勲

～ 種子法廃止の影響 ～

現在住宅街の一角に住んでいるが、10分ほど歩くと田園地帯になる。その農家の人が週に1回程度、野菜やトマト等をリヤカーや自転車に乗せて売りに来る。今年は厳寒と大雪のあおりで野菜が高騰し、そういう光景も少なくなったが、その農家の人が言っていたことが頭に残っている。売るトマトには虫がつかない薬剤を蒔くが、その薬を使うと手が荒れて困る。自分の家で食べるトマトにはその薬を使わないものを食べており、余ったものを売りに来ているのだという。毎日食べている米や大豆、野菜等について現実をしっかりと見つめておく必要があると思う。主要農産物種子法（種子法）が今年の4月1日に廃止される。この法律は、主食の米、麦、大豆を対象に1952年に制定されたものだが、種子を公的に守る政策という位置づけだ。余りマスコミでは取り上げていないが、今後の我々の食生活に大きく影響を及ぼす法律の廃止だと思う。現在国や都道府県の農業試験場が品種改良をした種子を奨励品種に指定して低価格で農家に販売されてきた。米の場合地域の特性に応じて約300種類の栽培品種があると言われている。これは食糧安全保障の観点から産地の分散化と品種の多様性を確保するという視点や、農家自身が種子を保存して翌年の田植えに備えるといった自主性の確保が目的とされている。ところがこうした公約な農業試験場が縮小され廃止されると、種子の値上がりやその地域の気象条件に合った種子の育成が不可能になる。当然種子の価格が上昇することは明らかで、京大の久野秀二教授の資料によれば、福井県の「コシヒカリ」は20g当たりの生産者渡し価格は7,920円、宮崎県の「ヒノヒカリ」が7,670円、これに対して民間M社の「とねのめぐみ」は17,280円だという。民間が開発した種子の価格は極めて高価で、現在は高価であるため売れないが、公的資金がつかまされなくなったあかつきには種子の価格が高騰することは必至だろう。高齢化の激しい農家は全滅せざるを得ない。それよりも民間企業の種子は優れた特性を維持できるのは一代限りで、農家による自家採取ができない仕組みになっている。一旦その種子を購入すると、その品種に最適な農薬や肥料、農機具を購入せざるを得ない仕組みが延々と続く。里山・田園の風景が消えてなくなるのも時間の問題ではないか。

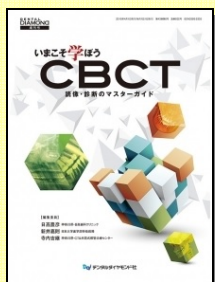
(つづく)

※玉手ニュース 2018年 4月号より転載。

New Books & Video

★今週の新材

『いまこそ学ぼう CBCT
読像・診断のマスターガイド』



いまや歯科臨床に欠かせない画像診断機器として、口腔外科や歯内療法にかぎらず、あらゆる臨床の場面でその有効性が認識されている歯科用コーンビームCT。そのCBCTを臨床に最大限活用するために知っておくべきポイントをピックアップし、基礎と臨床のエキスパートが徹底解説。3次元画像診断をもとに、確実に有効な歯科診療へ導く一冊。

- 編集=日高 豊彦/新井 嘉則/寺内 吉継
- 出版=デンタルダイヤモンド社
- 価格=5,400円+税

～歯科医院経営指南「宇田川道場」入門～
『これから儲かる歯科医院』



免許皆伝！繁盛歯科医院のつくり方、教えます！健全な高収益型歯科医院経営の伝授を目的とした「宇田川道場」を主宰する現役歯科医師の著者が、その奥義のすべてを惜しみなく披露。「現実」を変えるための「方法」を余すところなく伝え、歯科界の明るい未来を勝ち取るためのノウハウを徹底解説した一冊。

- 著 =宇田川 宏孝
- 出版=デンタルダイヤモンド社
- 価格=3,400円+税